

地下からこんこんと湧き出てくる湧水（清水）。古より人々を潤し、人々は水神様をまつるなどして大切に保全してきました。しかし、近代になり水道が普及し、その利用が減るとともに、貴重な水資源という認識が薄まりつつあります。

市内に残る「〇〇清水」と呼ばれる湧水は、私たちにとって貴重な財産であり、後世のために保護・保全しなければならぬものとして、今回そのいくつかを紹介します。

①六郷清水
滝根町広瀬字諏訪地内に所在する諏訪神社。その鳥居脇の大アカギ（樹齢約400年）の根元に、清水が湧いています。坂上田村麻呂が渴きをいやし、小野篁（平安時代の官人）が六郷清水と名付けたという言い伝えがあります。なお、「諏訪神社のあかぎと六郷清水」は市の天然記念物に

指定されています。

②大日清水

大越町上大越字大日前地内に所在する大日堂。その近くに清水が湧いています。昔、清水の傍らに病をいやす大日如来を安置したことにその名は由来します。なお、大日堂には市指定有形民俗文化財の「獅子舞の図」が奉納されています。

③源平清水

国道288号から、行司ヶ滝へ向かう都路町古道字小滝沢地内の道路沿いに清水が湧いています。昔、相馬藩

の殿さまが水のおいしさを褒め、その名を付けたという言い伝えがあります。

④十九夜清水

常葉町堀田字赤坂地内の道路沿いに清水が湧いています。そばに十九夜様が建立されていることにその名は由来します。弘法大師（空海）が飲んだという言い伝えや、天明の飢饉の時、大蛇が清水の傍らにある大岩をかじったという言い伝えから地元ではそのあたりを蛇場と呼んでいます。なお、清水から西に400メートルの日鷲神社境

内に市指定天然記念物「男スギ」が所在します。

⑤文珠（殊）五水

船引町文珠字上地内に所在する清涼寺。その近くに文珠五水と呼ばれる清水のひとつが湧いています。昔から参拝者のためのお清めの水として使われています。

※今回紹介した清水は自然環境の中で湧いているもので、水質管理はされていません。そのため、飲用としては保証されていません。



- 1 六郷清水
- 2 大日清水
- 3 源平清水
- 4 十九夜清水
- 5 文珠（殊）五水

次回は「文化財紹介動画の公開」を紹介する予定です。
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



地域おこし協力隊 全員集合！

私たちの仲間を紹介します！

皆さん、こんにちは！ 田村市地域おこし協力隊です。昨年4月から私たち地域おこし協力隊と一緒に活動してきた仲間である大学生・服部諒さん（現在、休学中）が大学に復学するため、4月には神奈川県に戻ります。また田村市に戻ってきて、一緒に活動できるのを楽しみにしています。それでは、彼の活躍を振り返ってみたいと思います。

し、第18回キャンパスベンチャーグランプリ東京大会（※1）で奨励賞を受賞。その後、受賞プラン実現の土台づくりのため、田村市をフィールドとして選び、大学を1年間休学し、昨年の4月から拠点を田村市に移す。現在は、一般社団法人Switchのスタッフとして、地域おこし協力隊と協力しながら活動中。

地域おこし協力隊奮闘記

▼服部諒さんプロフィール
岐阜県高山市出身。横浜市立大学国際教養学部4年。幼少期に、山や川でよく遊んでいた経験から「自然や環境」に対する関心が高まり、大学入学後は環境問題や自然資源にまつわる国際紛争について研究。さらに、身近な「地域課題」にも目を向け、都会の子どもと自然との距離に着目したビジネスプランを起案

服部さんはこの1年間、地域おこし協力隊と共に、田村市内で『モリのび』という山遊びイベントを開催してきました。子どもたちが家族と一緒に、地域の森や木でのびのびと遊んで欲しいという思いからスタート。そんなイベントの活動拠点となったのは、常葉町の殿上山です。震災や老朽化の影響で撤去されてしまったかつての遊び場を再生すべく、竹や廃材を活用

したすべり台、ヒミツ基地、スキー場をつくるというワクワクの詰まったイベントを一人でも多くの子どもたちに届ける活動をしてきました。

他にも常葉町や船引町にある広場や公共施設でも木工ワークショップを開催し、一年を通して市内外から多くの親子が集う、素敵な交流の場ができました。4月からは地域おこし協力隊のメンバーに引継ぎ、これからもパワーアップを続けていきます。ぜひ今後も注目してみてください。

【服部さんからのメッセージ】

田村で過ごした1年は本当に感謝しかありません。私がかこまで活動できたのは、関わってくださった市民の皆さんや地域おこし協力隊の皆さんのおかげです。山あり谷ありの毎日を本当に楽しく過ごすことができました。そして少しでも田村に価値を残せたのなら光栄です。4月からは大学生に戻りますが、また関われるチャンスがあれば

すぐに飛び込んでいきます。そして『モリのび』。楽しい楽しいイベントです。いつでも連絡お待ちしています（笑）

※1 キャンパスベンチャーグランプリ・大学・大学院・短大・高専・専門学校を対象にした日本最大級の学生ビジネスコンテスト。

